

そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だよりNo. 9

2015年7月14日発行

7月の聖句「わたしは世の光である」(聖書 ヨハネによる福音書8:12)

うたのタベ～地域でかがやくこどもたち～ 園長 菊地和子

7月4日(土)の午後、岩見沢市民文化センター中ホールで、合唱団こぶしさんの第36回定期演奏会が開かれました。この演奏会に聖十字幼稚園の年長さんが一緒に参加してもらうようになってから、もう17年目になるそうです！そのことだけとってみても、本当に感謝。すごいことですね！

満員の中ホール！

ステージの幕があいてみんなの姿がほんとに輝いて歌い出したとき

涙がドドーツと... バンガッがわいっしょ！

ほんとに上手だね。ちっちゃいのに

ほんとに曲おぼえて先生も大変だったろうね

近所だから毎年見に来るのさ。ほんとにめんこいね

聖十字はいい活動いっぱいしてるもんね。米ついたり森を歩いたりね

里外生見ってかんじだね。ハハハハ！

しゅっちゃん外で遊んでね

園長先生かわったんだね

周りの人も皆さんいっしょで涙をふきながら聴き入っていました。

街の人外に元気をくれるみんなはほんとに世の光です。

お母さんたちの努力！

今年は西村さん 片里さん 船木さんが参加して下さいました。

こぶしさんの練習にも5、6回通って下さったということ。本当にふっかれ様でした。おろさんと一緒にステージ。一生の思い出ですね。

1ヶ月間圭吾さん 有希さんのピアノ！ほんとにすばらしいです。

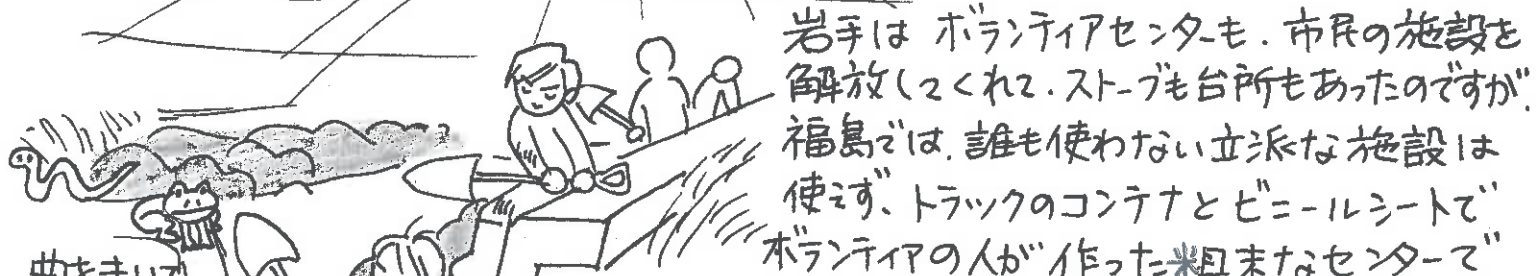
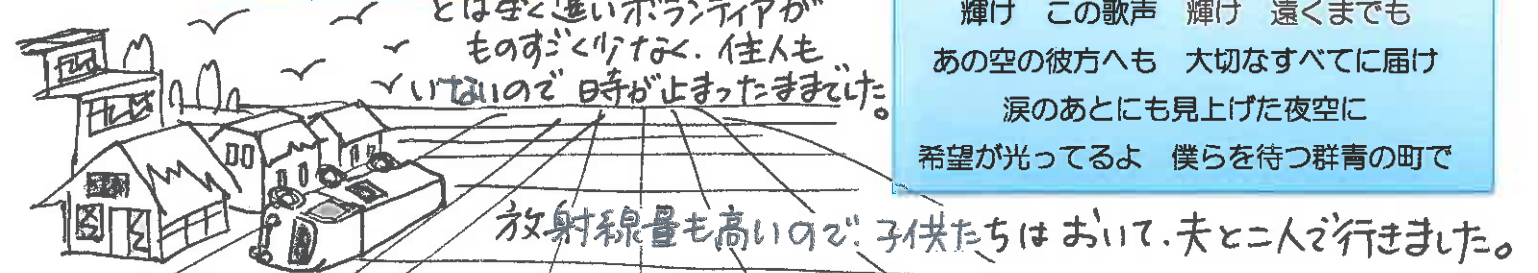
第3部 2曲目

2013年の1月、ボランティアで活動したのが ちょうどこの小高地区。

福島県小高中学校『群青』

前の年にいった 岩手県陸前高田 とは全く違うボランティアが ものすごくたくさん。住人も いないので 時間が止まったままだ。

あれから2年の日が僕らの中を過ぎて 3月の風に吹かれ 君を今でも思う 輝け この歌声 輝け 遠くまでも あの空の彼方へも 大切なすべてに届け 涙のあとにも見上げた夜空に 希望が光ってるよ 僕らを待つ群青の町で



曲をきいて小高の記憶がよみがえってきました。今も時間が止まったままなのでしょう。

寒すぎて誰もいませんでした。民家の除染作業をしたり(人は誰もいませんが)田んぼの側溝が何10kmにもわたって泥で埋まっているのを、10人ぐらいいつたすら掘り、いつか使えるようにきれいにしてほしいことでした。「去年はカエルもヘビも白鳥もいなかった。今年は少し生き物が戻ってきてる、」と地元の人がしみじみ話してくれました。

感動のラストステージ



3升の和室でブロック遊びやさかだちをして大笑いしてみんなが、ガラリと大変身!! すてきなリボンと黒いスカートやズボンに白いシャツです。手話もまじえて「私のこどもたちへ」と「ねがい」を歌いました。こぶし合唱団さん、お母さん方、先生方、そして園児のみんな。すばらしい歌をありがとう!!

かねえ先生 & かま=先生まり

初めての体験で子供たちより緊張しました。子どもたちは長い間ほんとうによくがんばってくれました。たくさんの方の前でしっかり歌えたことがこれからの自信につながると思います。(田島)

子どもたちは日に日に成長してるんだなあ、と強く感じる事ができるのがこの行事です。最初、苦手に感じてた子や集中しないうちの子たちも、6月に入ると自分たちで意識して「がんばろう!」と気持ちが一変していきなり、6月末になると表情も変わっていきます。それに子どもは本番に強い。肝がかわります。大きな行事がまたひとつ終わりました。